

教科	国語		科目	国語総合		単位数	3		学年・コース	1年 進学・体育	
教科書	『精選国語総合』東京書籍			担当者	岩崎真吾・藤島淳・青田竜童・飯島幸雄・門倉高之						
概要・目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。										
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価							
	一学期	16	【現代文】 《随想》 『届く言葉』内田樹 《評論》 『水の東西』山崎正和 【古典】 『動詞の活用』 『宇治拾遺物語』児のそら寝	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた随想を読み取る。</li> <li>「水」をめぐる日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。</li> <li>文語文法の基礎となる用言の活用を理解する。</li> <li>古典文学に親しむうえで重要な中世の物語文の特徴をつかむ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>							
		20	【現代文】 《小説》 『羅生門』芥川龍之介 《評論》 『まちの豊かさとは何か』山崎亮 【古典】 『形容詞・形容動詞の活用』 『今昔物語集』檢非違使忠明	<ul style="list-style-type: none"> <li>極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。</li> <li>「豊かさ」とは何かについて書かれた評論を読み、その考え方の違いについて理解を深める。</li> <li>文語文法の基礎となる用言の活用を理解する。</li> <li>古典文学に親しむうえで重要な中古の物語文の特徴をつかむ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>							
	二学期	20	【現代文】 《小説》 『ドライ・クリーニング』吉田修一 《評論》 『欲望と科学』池内了 【古典】 《古文》 『徒然草』丹波に出雲という所あり 《漢文》『訓読の基本』	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代を舞台とした小説を読み、情景描写や登場人物の心情の変化を表現に即して捉える。</li> <li>欲望と科学の関係についての筆者の考えを、論の展開に注意して的確に読み取る。</li> <li>中世の隠者であった筆者のものの見方、考え方に触れる。</li> <li>訓読の基礎となる知識を身につける。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>							
		20	【現代文】 《小説》 『城の崎にて』志賀直哉 《評論》 『真の自立とは』鷲田清一 【古典】 《古文》『伊勢物語』芥川 《漢文》『故事成語』推敲	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの命の危機や生物の死を通して変化する死生観を捉える。</li> <li>「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。</li> <li>後世に多大な影響を与えた日本最古の歌物語に触れる。</li> <li>基本的な句法を身につける。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>							
三学期	22	【現代文】 《評論》 『ものと記号』池上嘉彦 『生物の多様性とは何か』福岡伸一 【古典】 《古文》『古今和歌集』 《漢文》『寓話』漁夫之利	<ul style="list-style-type: none"> <li>記号が持つ性質を理解し、人間の文化的な営みの在り方について考えを深める。</li> <li>生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。</li> <li>文語文法の要となる助動詞の活用を理解する。</li> <li>基本的な句法を身につける。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(学年末考査)</p>								
履修上の心得と注意											
ノート・iPadは必ず準備すること。提出物は評価に影響するので必ず提出すること。											
評価観点の趣旨と評価方法											
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解						
評価観点趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業内で出す問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>学習活動における発言内容や態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>						

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4	学年・コース	1年 アカデミック
教科書	『精選国語総合』東京書籍			担当者	藤島淳		
概要・ねらい	国語を的確に理解し、適切に表現する能力を養い、伝える力を高める。作品内容から思考力を伸ばし、自分の心情を豊かにする。国語の言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。						
年間授業計画	一学期	配当時間	学習内容		評価基準		
		5	《現代文》 評論『水の東西』		・作品における、論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できているか。		
		5	評論『届く言葉』		・作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。		
		5	《古文》 古文入門		・古典を学ぶ意義を理解できたか。		
		5	宇治拾遺物語「児のそら寝」		・古文の現代語訳の仕方を正しく理解できたか。		
					(1学期中間考査)		
	二学期	5	《現代文》 小説『ドライブクリーニング』		・現代小説に親しみ、短編小説における心理描写を的確に読み取れているか。		
		5	評論『欲望と科学』		・作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。		
		10	《古文》 伊勢物語「芥川」「東下り」		・古語の意味、動詞の活用を理解しているか。		
					(1学期期末考査)		
		10	《現代文》 小説『羅生門』		・小説の面白さを味わい、その主題と構想を理解しているか。 ・小説を読む楽しさに気づき、読書への興味が深まったか。		
		7	漢文の構造と訓読の仕方 故事「矛盾」「借虎威」		・漢文を読む上での基礎的知識を身につけることができたか。 ・漢文の訓読を学び、故事の意味を正しく理解しているか。		
三学期	7	《現代文》 小説『富嶽百景』		・太宰治の作品に触れ、その独特の感性を理解したか。			
	5	評論『真の自立とは』		・作品の論旨を正しく理解できているか。			
	9	《古文》 徒然草「神無月のころ」 平家物語「木曾の最期」		・文法的な裏づけのもと、内容を理解できたか。 ・平家物語特有の文章のリズム、語調を感じることができたか。			
				(2学期期末考査)			
	7	《現代文》 評論『生物の多様性とは何か』		・作品の要旨、作者の表現方法を正しく理解したか。			
	5	評論『白』		・作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。			
4	《古文》 奥の細道「旅立ち」		・助動詞や助詞の用法を理解して読解できるか。				
4	《漢文》 論語		・文法的な裏づけのもと、内容を理解できたか。 ・句法を理解しながら読めているか。				
			(学年末考査)				
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	現代文B	単位数	進学3・体育4	学年・コース	2年 進学・体育
教科書	東京書籍「新編現代文B」		担当者	岩崎真吾・藤島淳・多胡 東明光・遠藤 明日香・藪田和弘			
概要・目標	<p>文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。            文学作品を通して日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、その読解によって自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。            現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	20 【15】	随想『こそめスープ』  小説『みどりのゆび』	<p>随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ろう。            ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせよう。</p> <p>小説に描かれた人物の心情や人間関係を表現に即して読み取ろう。            ・主人公の心情を読み取り、人間と自然の生命のつながりについて考えを深めよう。</p> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>			
		20 【15】	随想『さくらさくらさくら』  評論『「ふしぎ」ということ』	<p>随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を表現の特徴に注意して読み取ろう。            ・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえることができたか。</p> <p>評論を読んで、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉えよう。            ・挙げられている話題を関連付けて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めよう。</p> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>			
	二学期	28 【20】	評論『思考の肺活量』  小説『ナイン』	<p>表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握しよう。            ・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深めよう。</p> <p>小説に描かれた人物の心情や人間関係を表現に即して読み取ろう。            小説の時代背景を想像しつつ、登場人物の人間関係とその心情を読み取ろう。</p> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>			
		20 【16】	評論『安心について』  小説『旅する本』	<p>表現に注意して評論を読み、提示された問題を的確に把握しよう。            ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考えよう。</p> <p>小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物について表現に即して捉えよう。            ・「旅する本」という表現に込められた寓意を把握し、「本」について考えを広げよう。</p> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>			
	三学期	24 【18】	小説『こころ』	<p>小説における場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取ろう。            人間関係における人物の心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深めよう。</p> <p style="text-align: right;">(学年末考査)</p>			
	履修上の心得と注意						
<p>学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等(ワークシート・iPadでの課題)も評価に影響するため、必ず提出して下さい。</p>							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることが出来る。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート(iPadでの課題)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>論作文作成及び提出</li> <li>ワークシート(iPadでの課題)</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート(iPadでの課題)</li> <li>ノート</li> <li>発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート(iPadでの課題)</li> <li>ノート</li> </ul>		

教科	国語		科目	現代文B	単位数	1月4日	学年・コース	2年 アカデミック文系	
教科書	東京書籍「精選現代文B」			担当者	藪田和弘				
概要・目標	<p>文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。            文学作品を通して、日本語の美しさや表現の豊かさを味わいその読解によって自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。            現代社会において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。</p>								
年間 授業 計画	学期	配 当 時 間	学 習 内 容	活 動					
	一 学 期	20	評論『世界をつくり替えるために』  評論『相手依存の自己規定』  小説『山月記』	評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉える。  ・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。 評論を読み、根拠を確かめながら筆者の主張を捉える。 ・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。  小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物について表現に即して捉える。 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	(1学期中間考査)				
		20	評論『「である」ことと「する」こと』  評論『おじいさんのランプ』  小説『旅する本』	話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。 ・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。 情報化社会を題材とする複数の評論を読み、視野を広げる。 ・話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。 小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物について表現に即して捉える。 ・「旅する本」という表現に込められた寓意を把握し、「本」について考えを広げる。	(1学期期末考査)				
	二 学 期	28	評論『消費されるスポーツ』  小説『ころも』	情報化社会を題材とする複数の評論を読み、視野を広げる。 ・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。  小説における場面展開や、人物の性格・心理の描写を読み取る。 ・人間関係における人物の心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深める。	(2学期中間考査)				
		20	評論『日本人の美意識』  詩歌 牡丹花は プラタナス	絵画や地図を参考にして評論を読み、構成・展開・要旨を的確に理解する。 ・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。  ・詩・短歌・俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解して味わう。	(2学期期末考査)				
	三 学 期	24	評論『ミロのヴィーナス』  評論『人間の運命と科学』  評論『地図の想像力』	評論を読み、表現の特徴に注意して筆者の主張を的確に捉える。 ・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。  具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ・論の展開と構成を把握して主張を捉え、科学と人間の関係について考えを深める。  絵画や地図を参考にして評論を読み、構成・展開・要旨を的確に理解する。 ・提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。	(学年末考査)				
			履修上の心得と注意						
	学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等(ワークシート・iPadでの課題)も評価に影響するため、必ず提出して下さい。								
	評価観点の趣旨と評価方法								
	各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることが出来る。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。				
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート(iPadでの課題)	・定期考査 ・論文作成及び提出 ・ワークシート(iPadでの課題) ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート(iPadでの課題) ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート(iPadでの課題) ・ノート				

教科	国語		科目	現代文B	単位数	2	学年・コース	2年 アカデミック理系
教科書	東京書籍『精選 現代文B』			担当者	岩崎 真吾			
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準				
	一学期	10	評論『消費されるスポーツ』 多木 浩二	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな時に「日本人らしさ」を意識するかを考えているか。</li> <li>・段落ごとに取り上げられている題材や問題を理解しているか。</li> <li>・日本の学生とアメリカの学生の考え方の違いについてその内容を理解しているか。</li> <li>・日本人の自我の構造と人間関係の把握の様式を正確に読み取っているか。</li> <li>・日本語における一人称代名詞・二人称代名詞の用い方を理解しているか。</li> <li>・日本型の相対的自己表現とヨーロッパ型の絶対的自己表現との違いを理解しているか。</li> <li>・それぞれの例で示されている日本人の自我の構造の特色を、欧米人と比較しつつ捉えているか。</li> </ul>				
		10	小説『藤野先生』 魯迅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者について興味を持っているか。</li> <li>・「清国留学生」に対する私の印象を読み取っているか。</li> <li>・「私」が東京を離れた理由と、仙台での「私」の待遇を読み取っているか。</li> <li>・藤野先生に対する「私」の印象を読み取っているか。</li> <li>・藤野先生の指導に対する「私」の思いを読み取っているか。</li> <li>・試験問題漏洩事件の経過を読み取っているか。</li> <li>・幻灯事件の経過と、それによる「私」の考えの変化を読み取っているか。</li> <li>・「私」が仙台を去った理由と、「私」と別れる時の藤野先生の様子を読み取っているか。</li> <li>・藤野先生に対する現在の「私」の思いと、現在の「私」の生き方について読み取っているか。</li> <li>・現在の「私」として藤野先生との出会いが持つ意味を読み取っているか。</li> </ul>				
	二学期	13	小説『山月記』 中島 敦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代背景やその中の作者の立場を踏まえて現代と比較しているか。</li> <li>・語り手が変化していることを踏まえて場面を分けているか。</li> <li>・李徴が虎になった経過を読み取っているか。</li> <li>・虎になった理由を李徴がどう自己分析しているか読み取っているか。</li> <li>・詩をめぐる李徴と袁修の思いを読み取っているか。</li> <li>・李徴の心情を、人間一般に関わる問題として読み取っているか。</li> <li>・別れに際して、虎になった理由の自己分析がどのように変化したかを読み取っているか。</li> <li>・作品の主題について考えているか。</li> </ul>				
三学期	12	小説『ころも』 夏目 漱石	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな時に「日本人らしさ」を意識するかを考えているか。</li> <li>・段落ごとに取り上げられている題材や問題を理解しているか。</li> <li>・日本の学生とアメリカの学生の考え方の違いについてその内容を理解しているか。</li> <li>・日本人の自我の構造と人間関係の把握の様式を正確に読み取っているか。</li> <li>・日本語における一人称代名詞・二人称代名詞の用い方を理解しているか。</li> <li>・日本型の相対的自己表現とヨーロッパ型の絶対的自己表現との違いを理解しているか。</li> <li>・それぞれの例で示されている日本人の自我の構造の特色を、欧米人と比較しつつ捉えているか。</li> </ul>					
履修上の心得と注意				(学年末考査)				
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う。また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。)								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート			

教科	国語	科目	古典A	単位数	2	学年・コース	2年 アカデミック
教科書	『精選古典B』東京書籍		担当者	青田竜童			
概要・目標	古文を読む上で必要な知識を習得させ、多くの古文に触れさせることで伝統的な言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	8	【古文】 《説話》 『宇治拾遺物語』小野篁、広才のこと  《物語》 『伊勢物語』初冠	・国語総合で学んだことを確認しながら、言葉遊びの面白さや登場人物の心理を理解させる。  ・『芥川』を踏まえた上で、元服したての男の心情と和歌に込められた思いを読み取る。  (1学期中間考査)			
		8	【古文】 《随筆》 『枕草子』九月ばかり  【漢文】 《小話》 『十八史略』完璧而帰	・最古の随筆文学であり、宮廷生活の中に生きた女性の心の機微を理解する。  ・国語総合で学んだことを確認しながら、完璧という単語の基となった話を理解する。  (1学期期末考査)			
	二学期	10	【古文】 《物語》 『源氏物語』光源氏の誕生  《随筆》 『徒然草』家居のつきづきしく	・平安朝文学を代表する作品に触れ、古文常識の確認や敬意の方向について理解する。  ・三大随筆であり、後世の随筆作品に影響を与えた作品に触れ、当時の思想を読み取る。  (2学期中間考査)			
		10	【古文】 《軍記物語》 『平家物語』壇の浦の合戦  【漢文】 《史記》 『項羽』四面楚歌	・華やかな平安朝文学とは異なる軍記物語の独特な世界を読み取る。  ・四面楚歌の語源と共に項羽が詠んだ漢詩に込められた思いや配下の心情を読み取る。  (2学期期末考査)			
	三学期	12	【古文】 《日記》 『更級日記』門出  《物語》 『大鏡』雲林院の菩提講	・女性が書く日記文学に触れると共に作者の物語に対する憧れや旅立ちの際の感傷を読み取る。  ・宮廷内の権力争いなどから今まで学んできた平安朝貴族とは異なる姿を見出す。  (学年末考査)			
	履修上の心得と注意						
ノート・iPadは必ず準備すること。提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	古典の面白さを自ら探し、興味関心を深めるとともに、その学びを現代に生かす姿勢の有無。	古文を声に出して読むことで、現代との差異を知りだけでなく流麗なリズムを楽しむ。また、文法的知識を基に正確に内容を把握する。	現代とは異なる文法を理解し、自らの考えに則した文章表現ができる。	読み取った内容を正確に相手に伝えることができるか。また、相手の伝えたいことを正確に理解することができるか。	古文常識や助動詞や助詞などの文法知識、漢文の句法などを理解しているか。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・授業内で出す問題	・授業に取り組む姿勢 ・学習活動における発言内容や態度	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート		

教科	国語		科目	古典演習	単位数	2	学年・コース	2年進学
教科書	東京書籍 「新編 古典B」			担当者	多胡東明光・藪田和弘・飯島幸雄・門倉高之			
概要・目標	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、歴史感覚、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度と思考を育てる。また、1年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	5 5	土佐日記「馬のはなむけ」 更級日記「門出」	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記文学の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> <li>古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。</li> <li>用言、助動詞、敬語の意味や働きを理解する。</li> <li>作者の人生観、社会観を形成した社会的状況を描写からとらえる。</li> <li>場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。</li> </ul> <p>(1学期中間考査)</p>				
		4 4	宇治拾遺物語「小野篁、広才のこと」 戦国策「蛇足」	<ul style="list-style-type: none"> <li>説話の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> <li>古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。</li> <li>助動詞、敬語の意味や働きを理解する。</li> <li>作者の人生観、社会観を形成した社会的状況を描写からとらえる。</li> <li>場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。</li> <li>本文を正しく書き下し、音読できる。</li> <li>漢語の意味を調べ、再読文字や願望・反語の句形に注意して漢文を現代語訳できる。</li> </ul> <p>(1学期期末考査)</p>				
	二学期	4 3 3	徒然草「丹波に出雲という所あり」 漢詩「静夜思」 漢詩「登岳陽樓」	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> <li>古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。</li> <li>助動詞、助詞、敬語の意味や働きを理解する。</li> <li>作者の人生観、社会観を形成した社会的状況を描写からとらえる。</li> <li>場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。</li> <li>漢詩が日本人の心情や文学的発想に大きな影響を与えてきたことを理解する。</li> <li>漢詩の決まりを理解する。</li> </ul> <p>(2学期中間考査)</p>				
		5 5	史記「鴻門之会」 史記「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文に表れた古代中国人のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。</li> <li>平易な中国の史話を読み、歴史書の面白さを味わい、漢文に親しむ。</li> <li>登場人物のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、その時代の風潮や背景を理解する。</li> <li>本文を正しく書き下し、音読できる。</li> <li>漢語の意味を調べ、重要な句形に注意して漢文を現代語訳できる。</li> </ul> <p>(2学期期末考査)</p>				
	三学期	10	「小倉百人一首の世界」	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌を読み比べ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</li> <li>古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。</li> <li>助動詞、助詞の意味や働きを理解する。</li> <li>和歌の修辞や表現の面白さを理解する。</li> <li>季語を意識して音読しながら、季節の情感をどのように表現しているかを理解する。</li> <li>作者の人生観、社会観を形成した社会的状況を描写からとらえる。</li> </ul> <p>(学年末考査)</p>				
	履修上の心得と注意		<p>学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。</p>					
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>			

教科	国語	科目	古典演習	単位数	2	学年・コース	2年 アカデミック	
教科書	『スタディアーク古典 2』 第一学習社		担当者	青田竜童				
概要・目標	今まで学んできた知識を活用し、古文読解を行う。問題に取り組む中で文法的知識の活用をはじめ、文脈や人物関係の理解を進め入試問題に対応できる力を醸成していく。							
年間授業計画	一学期	8	【古文】 1～3  【漢文】 16～17	(1学期中間考査)				
		8	【古文】 4～6  【漢文】 18～19					(1学期期末考査)
	二学期	10	【古文】 7～9  【漢文】 20～21	(2学期中間考査)				
		10	【古文】 10～12  【漢文】 22～23					(2学期期末考査)
	三学期	12	【古文】 13～15  【漢文】 24～25	(学年末考査)				
	履修上の心得と注意							
	ノート・iPadは必ず準備すること。提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
	評価視点の趣旨と評価方法							
	各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
	評価視点趣旨	課題に積極的に取り組む姿勢はもちろん、誤った問題への取り組み方や予習・復習の有無。	時間内に文章を読み、そのなかで正確な読解を行うことができるか。	問題作成者の意図を汲み、求められている解答を正確書くことができるか。	古文独特のリズムを理解し、正確に内容を把握できているか。	古典Aで学んだ知識をこの問題演習で自らの知識として活用できているか。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・授業内で出す問題	・授業に取り組む姿勢 ・学習活動における発言内容や態度	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート			

教科	国語		科目	現代文B	単位数	4	学年・コース	3年進学・体育
教科書	明治書院「高等学校 現代文B」			担当者	庄司剛・岩崎瑠莉恵・和崎祐美子・遠藤明日香・門倉高之			
概要・目標	文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。 文学作品を通じ、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、感受性や想像力を育む。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	6	随想『おまえはどこに立っている』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随想を読み、ものの捉え方や文章の組み立て方を学ぶ。</li> <li>・一つの出会いが、どのように人生に深く関わることがあるか、表現に注意して読み味わう。</li> <li>・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・抽象的な用語や概念を正確につかみ、内容を深く理解する。</li> <li>・言葉と言葉が指し示すものとの関係について説明の用語を厳密に把握し読み解く。</li> <li>・小説の人物、情景、心情を的確にとらえる。</li> <li>・作品中での「マスク」の象徴的な意味と効果をつかむ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>				
		6	評論『言葉を理解する』					
		6	小説『マスク』					
	二学期	6	評論『小説とは何か』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の文章について具体例に沿った論の展開の仕方を学ぶ。</li> <li>・小説が「言葉」を現実化することに本質があるということについて、まとめる。</li> <li>・「遠野物語第二十二節」における「くるくると回りたり」の意味を読み解く。</li> <li>・小説の舞台設定や人物関係の特徴をつかむ。</li> <li>・個々の場面のエピソードの意味を全体の流れからとらえる。</li> <li>・「博士」の人物像をはっきりとつかむ。</li> <li>・「私」と「ルート」の「博士」に対する心情を読み取る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>				
		12	小説『博士の愛した数式』					
6		随想『サフラン』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治期の随想を読み、現代にも通じるものの見方を知る。</li> <li>・「名を聞いて人(物)を知らぬ」の意味を全体通して、読み解く。</li> <li>・サフランの姿と「私」の「水をやる」行為との対比をまとめる。</li> <li>・長めの評論文を読み、引用文の効果的な使い方を学び、要旨を的確にとらえる。</li> <li>・登山家ジャヴェルの言葉に対する筆者の捉え方を読み取る。</li> <li>・ジャヴェルの言葉と引用されている芭蕉の俳句との共通点をつかむ。</li> <li>・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・ものごとを根本から考える姿勢を学ぶ。</li> <li>・「世間」という言葉で語られる社会関係の実相を日欧の対比でつかむ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>					
6	評論『物の見えたる光』							
6	評論『「世間」とは何か』							
12	評論『私の個人主義』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・筆者の言う「個人主義」について正確に理解する。</li> <li>・表現上の特色を理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>						
三学期	3学期は授業を行いません							
履修上の心得と注意								
<p>授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい(各学期ごとにノート検査を行う)。 また、課題等(ワークシート・iPadでの課題)も評価に影響するため、必ず提出して下さい。 なお、授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。</p>								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取り、ものの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き、的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席状況</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・論作文作成及び提出</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート・iPadでの課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・課題等の提出</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>			

教科	国語		科目	現代文B		単位数	4		学年・コース	3年 アカデミック文系	
教科書	東京書籍『精選 現代文B』			担当者	岩崎 真吾						
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。										
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準							
	一学期	20	評論『異文化理解』青木 保	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえられているか。</li> <li>具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえられているか。</li> <li>「異文化」におけるコミュニケーションのあり方をつかめているか。</li> <li>世界を見る視点について考えを深められているか。</li> </ul>							
		20	評論『憲法への招待』渋谷 秀樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章について、見出しを踏まえて、全体の構成をとらえられているか。</li> <li>「平等」についてどのような問題があるのか、筆者の指摘を整理してとらえられているか。</li> <li>具体例について考える際に、その前提、この文章の論点を確かめられているか。</li> <li>社会的な問題を、「絶対的平等」と「相対的平等」という二つの観点から考えられているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>							
	二学期	28	小説『檸檬』梶井 基次郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の人物、情景、心情を的確にとらえられているか。</li> <li>感覚的で生き生きとした表現を味わえているか。</li> <li>「わたし」の感受性の特徴と心理状態の変化を読み取れているか。</li> <li>「檸檬」がどのように「わたし」をとらえたかを探れているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>							
		10	評論『私の個人主義』夏目 漱石	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえられているか。</li> <li>筆者の言う「個人主義」について正確に理解できているか。</li> <li>表現上の特色を理解できているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>							
14		評論『グローバリゼーションの光と影』小熊 英二	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえられているか。</li> <li>具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえられているか。</li> <li>「グローバリゼーション」と「ナショナリズム」の関係について筆者の考えをつかめているか。</li> <li>歴史や現代の世界について、新しい視点で物事をとらえることを学べているか。</li> </ul>								
14	評論『猫は後悔するか』野矢 茂樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論を読み、論の組み立て方と論理的表現の仕方を学べているか。</li> <li>「論理空間」の意味を具体的に把握できているか。</li> <li>世界の「分節化」とはどのようなことか、まとめられているか。</li> <li>言葉が「論理空間」とどのように結びついているか、文脈に沿って読み解くことができているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>									
三学期			3学期は授業を行いません。								
履修上の心得と注意											
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う。また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。)											
の趣旨と評価方法											
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解						
評価の観点の趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じて筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>論作文作成及び提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> <li>発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>						

教科	国語	科目	現代文	単位数	3	学年・コース	3年アカデミック理系
教科書	明治書院「新精選 現代文B」			担当者	庄司 剛		
概要・目標	様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	9	評論「異文化理解」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>・具体例や対比の表現などから筆者の主張をとらえる。</li> <li>・異文化におけるコミュニケーションのあり方をつかむ。</li> <li>・世界を見る視点について考えを深める。</li> </ul>			
		9	評論「グローバリゼーションの光と影」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の文章について、見出しを踏まえて、全体の構成をとらえる。</li> <li>・グローバリゼーションとナショナリズムの関係について筆者の考えをつかむ。</li> <li>・歴史や現代の世界について、新しい視点で物事をとらえることを学ぶ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>			
		4	評論「この瞬間を歴史に刻む」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな時間の流れの中で、今一瞬を定位するという作業として歴史をとらえる視点を学び、歴史を尊重することが現在を丁寧に生きることと重なることを理解する。</li> </ul>			
		4	評論「『名づけ』の精神史」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえ、現代日本の精神風土についての関心を深める。</li> </ul>			
		4	評論「群衆の顔」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対比的な物事の論じ方を学び、筆者の群衆のとらえ方の特徴を明らかにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>			
	二学期	6	小説「舞姫」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物や内容を把握し、場面ごとの描写から人物の心情を読み取る。</li> <li>・作品全体を通して、近代という時代や、人の生き方について知識を深める。</li> <li>・森鷗外の文学・思想について学び、理解を深める。</li> </ul>			
		4	随想「猫は後悔するか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論を読み、論の組み立て方と論理的表現の仕方を学び、「論理空間」の意味を具体的に把握する。</li> </ul>			
		4	随想「釣りのハイパー・セミオティクス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の「分節化」とはどういうことかをまとめ、言葉が「論理空間」とどのように結びついているか、文脈に沿って読み解く。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>			
		4	評論「〈読み〉の楽しみ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読む＝書く＝生きる」とはどういうことか、文脈に沿って読み解き、筆者の言う〈読み〉の楽しみとは何か、具体的な事例を入れて文章にまとめる。</li> </ul>			
6		評論「私の個人主義」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的な用語や概念を正確につかみ、内容を深く理解するためにコード横断という言葉の意味を明確にとらえる。また筆者の人間と自然についての考え方をつかむ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>				
三学期	3学期は授業を行いません。						
履修上の心得と注意							
<p>学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。</p>							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席状況</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・論作文作成及び提出</li> <li>・ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・課題等の提出</li> <li>・ノート</li> </ul>		

教科	国語		科目	現代文B	単位数	3	学年・コース	3年進学
教科書	明治書院「新高等学校 古典B」			担当者	庄司 剛			
概要・目標	<p>様々な教材を取り上げ、幅広く学習することで、古典の内容を的確に捉え、理解する力を高める。また古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。これをもとに優れた表現に親しみ、特に日本と中国の文化の関係を考える。ひいては古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。</p>							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	10	歴史物語『大鏡』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大鏡の概要を理解する。</li> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。</li> <li>・登場人物の行動や心情を読み味わう。</li> <li>・歴史上の人物の逸話から生き生きとした人物像をとらえる。</li> <li>・自動詞と他動詞について理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査)</p>				
		10	物語『源氏物語』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・源氏物語の概要を理解する。</li> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。</li> <li>・登場人物の行動や心情を読み取り、物語の面白さを味わう。</li> <li>・作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。</li> <li>・最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>				
	二学期	12	史話・史伝『史記』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的な中国の歴史書の、有名な場面を扱った長めの文章を読み、読解力を養う。</li> <li>・登場人物の行動や心情、場面を読み取り、歴史上の劇的な話の面白さを味わう。</li> <li>・作者作品について理解し、中国の歴史への関心を高める。</li> <li>・本文を訓点に従って音読み、書き下し文に改める。</li> <li>・重要な句形について理解する。</li> <li>・司馬遷の生涯を理解し、『史記』の概要を理解を深める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>				
思想『孟子』『荀子』『老子』『莊子』『韓非子』			<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸子百家が生み出された社会的な状況を理解する。</li> <li>・諸子百家の人間観を理解する。</li> <li>・寓話や比喩具体例などを用いた、説得力のある論法を理解する。</li> <li>・それぞれの読解を通し、中国思想のあり様を理解し、自らの人生観世界観を育む。</li> <li>・本文を訓点に従って音読み、書き下し文に改める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>					
三学期			3学期は授業を行いません。					
履修上の心得と注意								
<p>学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。</p>								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席状況</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・論作文作成及び提出</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に取り組む姿勢</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・課題等の提出</li> <li>・ワークシート</li> <li>・ノート</li> </ul>			

教科	国語	科目	古典B	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック
教科書	『新精選古典B』 明治書院		担当者	岩崎 瑠莉恵			
概要・ねらい	古文では、それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 また、これまでの学習をふまえ、文法力・語彙力・読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。 漢文では、訓読に必要な句法・語彙を確認し読解力等を深める。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	3 3	【古文】 『蜻蛉日記』 「町の小路の女」 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中を」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女流日記文学や作者について概要を理解する。</li> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。</li> <li>・登場人物の行動や心情を読み取る。</li> <li>・修辞技巧に留意して和歌の内容を理解する。</li> <li>・具体的で展開の分かりやすい故事や逸話を読み、その面白さを読み取る。</li> <li>・平易な中国の史話を読み、歴史書の面白さを読み取る。</li> </ul>	(1学期中間考査)		
		3 3	【漢文】 「塞翁馬」 『十八史略』 「管鮑之交」				
	二学期	8	【古文】 『源氏物語』 「車争い」 「紫の上の死」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面状況を把握し、文章の内容を展開に即して的確にとらえる。</li> <li>・登場人物の行動や心情を読み取り、物語の面白さを味わう。</li> <li>・助動詞、敬語の意味を確認する。</li> <li>・古典の言葉と現代の言葉を比較し、その変遷などについて理解する。</li> </ul>	(1学期期末考査)		
		4	『堤中納言物語』 「虫めづる姫君」				
	二学期	6	【古文】 『大鏡』 「肝試し」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史上の人物の逸話から生き生きとした人物像をとらえる。</li> <li>・二方面への敬語について理解する。</li> <li>・本格的な中国の歴史書の、有名な場面を扱った長めの文章を読み、読解力を養う。</li> </ul>	(2学期中間考査)		
		6	【漢文】 『史記』 「鴻門之会」				
二学期	4 3	【古文】 「もののあはれの論」 「秘する花を知ること」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。</li> <li>・例示の内容について理解する。</li> <li>・「花」の意味するところを理解する。</li> <li>・諸子百家の人間観を理解する。</li> <li>・寓話や比喻具体例などを用いた、説得力のある論法を理解する。</li> </ul>	(2学期期末考査)			
	5	【漢文】 孟子「性善」 荀子「性悪」					
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい（各学期ごとにノート検査を行う）。 また、課題等（ワークシート・iPadでの課題）も評価に影響するため、必ず提出して下さい。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・文学史等について正しい知識と力をもっている。訓読に必要な句法・語彙を身につけているか。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	入試国語	単位数	3	学年・コース	3年アカデミック文系
テキスト	自主教材			担当者	藤島 淳		
概要・ねらい	一般選抜入試を見据え、演習を中心に授業を行い、現代文における読解力の強化、古典分野における文法範囲の理解を深め、入試に対応し得る能力を身につける。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	30	現代文において一貫した解の戦略を身につけることを目標とし、小論文につなぐ視点として要約演習を中心とした文章作法について学ぶ。 古典においては、文法問題のための文法理解ではなく、あくまで読解に活かす視点で合理的な文法操作ができるようになることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を読解に活かす方法が自分にとって最適なものになる力を身につけているか。</li> <li>・単語と文法、句形の意味、古典世界の常識を理解し、文章の意味を理解できているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期中間考査) (1学期期末考査)</p>			
	二学期	36	現代文においてセンター試験基礎レベルの問題を用いて制限時間内での解答力を高めることを目標とし、小論文につながる要約演習とともに、段落構築の手法を身につける。古典においては、読解のための文法力と和歌の解釈力を高めながら、古典世界の常識に関する知識を活かして内容理解の精度を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象と具体、対比と類比、分析と総合の3つの戦略を適切に使うことができる。未知の話題に対しても類推することで解決を図ることができる。</li> <li>・和歌の論理を理解できているか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査) (2学期期末考査)</p>			
	三学期		3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
演習が中心となる授業です。一つ一つに丁寧に真面目に取り組むようにしてください。課題への取り組み姿勢、理解度、成果で評価します。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	問題解決の能力	技能・表現	知識・理解			
評価の観点の趣旨	言語を用いた表現に関心を持った姿勢で、演習に取り組んでいる。	毎回の演習に向けて、事前に準備が十分になされ、発表等で成果が認められる。	「話す」「聞く」「書く」という言語能力に長け、自分自身を表現できている。	高校三年生相当の国語知識、能力が身につけている。			
評価方法	授業への出席状況 授業での演習の取り組み	発表への準備状況 課題の提出状況	発表時の態度・姿勢	学期ごとの定期考査			